

件 名	「堺・まちづくりGPS（案）」について
経 過 ・ 現 状 政 策 課 題	【経過】 ・平成23年3月 堺市マスタープラン「さかい未来・夢コンパス」の策定 ⇒市民の生活実感により近い市独自の新たな指数を設定し、各取組の成果を示す（第8章第2項の2「独自の指標による進行管理」） ・平成23年7月 堺市マスタープラン推進検討懇話会の開催（計3回） ～平成24年1月 ⇒指標設定の考え方、指標案等の協議 【課題】 ・堺市マスタープランの重点プロジェクトである「堺・3つの挑戦」は、行政だけで実現できるものではなく、市民・企業・行政等が、課題を共有し、協力して取組を進める必要がある。
対 応 方 針 今 後 の 取 組 （ 案 ）	【対応方針】 ・「堺・3つの挑戦」の各分野に対応した「市民生活の充実度」・「都市魅力」・「持続可能性」の3つの観点から、市民目線でまちづくりの成果を客観的に測り、堺の現状を把握するとともに、課題に対応した取組等をまとめた分析・評価報告書として、「堺・まちづくりGPS」を作成する。 【具体的な内容】 ・各種統計データ等を基に整理した62の指標を、他政令市等と比較してレーダーチャートで表示 ・レーダーチャートと各指標に関連する主な堺市の取り組みがひと目で分かるように記載 【今後の予定】 ・平成24年5月末 「堺・まちづくりGPS」の公開 ・平成24年7月頃 市民向けリーフレット等の発行
効 果 の 想 定	・「強み」・「弱み」を含めた堺市の現状・立ち位置を客観的に把握 ・今後、まちづくりを進める上で市民・企業等とのコミュニケーションツールとして活用し、多様な主体が協働した課題克服への取組につなげる
関 係 局 と の 政 策 連 携	全部局

「堺・まちづくりGPS」の位置付け等

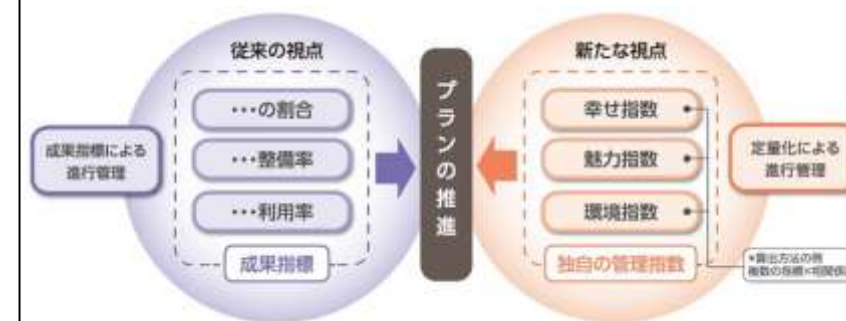
《堺市マスタープランによる位置付け》

- 堺市マスタープラン第8章第2項の2「独自の指標による進行管理」において、従来の視点である「成果指標」による進行管理にあわせ、「**新たな視点**」として、「**定量化による進行管理**」を設定し、**進行管理を行う**こととしている。

《GPS作成の理由・目的》

- 堺市マスタープランの「**市民とともに重点的に取り組む3つのプロジェクト**」である「**堺・3つの挑戦**」に対応した「市民生活の充実度」「都市魅力度」「都市の持続可能性」の3つの指標により、**全国の政令指定都市平均値と比較**することで、**堺市の現在地（＝現状）を正確に把握**し、今後の同プランの**将来像実現に向けた取り組みに活用**するため

進行管理（イメージ図）



堺市マスタープランより

堺市マスタープラン推進検討懇話会 有識者意見

- 第1回（H23.7.7）
指標設定の考え方など
- 第2回（H23.10.6）
指標素案の議論など
- 第3回（H24.1.12）
指標案の議論など

堺・まちづくりGPS

《現在地の示し方》

- 堺・3つの挑戦を「**まちの状態**」と「**そこで活動する市民の意識**」により**指標化**
- 単に指標の数値化ではなく、その数値が「**高いか低い**」を客観的に示す
- レーダーチャートで視覚的に**分かりやすく表現
- 活かすべき「強み」**
克服すべき「弱み」を明らかにする

●市民生活の充実度指標

- ・成長を支える「人への投資」（8指標）
- ・生涯にわたる「安心の保障」（8指標）
- ・快適に生き活きと暮らせる「暮らしの充実」（9指標）

●都市魅力度指標

- ・市民が「誇り」を感じる（6指標）
- ・来訪者が「憧れ」を抱く（6指標）
- ・企業の「投資」を惹きつける（5指標）

●都市の持続可能性指標

- ・産業・エネルギー利用構造の転換（5指標）
- ・都市構造の変革と都市経営基盤の確立（8指標）
- ・市民生活の変革と社会的活力の維持向上（7指標）

弱み【数値の悪い指標】

強み【数値の良い指標】

行政としての
「課題克服に向けた取組」世界一・日本一など
「堺の取組・魅力」

【本市の現状共有】

- 市政の透明性
- 本市の今の姿を再認識
- 多様な主体（市民、企業、行政など）が協働した課題克服への取組

【活用方策】

- 市民等との対話
- 庁内議論

- 平成25年度予算化
- 市民目線でのまちづくりの実現
- 都市内分権の推進

堺市マスタープランの改定に反映

- 都市間比較を行う際、「類似団体」として、自治体の制度・規模ごとに分析するのが、一般的な手法

- 成り立ちは違うが、都市として最高の権能を有する**政令指定都市平均で比較**

◎より高いレベルをめざし、
今後のまちづくりを行って
いくことにつながる